

支援の手だてリスト(具体例)

		③ 見た数を答えよう 見た内容を少しの間記憶しておくカ	
		全体への支援	より個別的な支援(教材の工夫など)
1	目標・ねらい 学習の評価	1) ・活動内容を具体的に示す ・児童生徒を主語にして「～する」「～できる」という表現にする ・一つの目標には二つ以上の内容を入れない 2) ・板書や紙に書くなどして、児童生徒が見て分かるように提示する 3) ・まとめの時間に授業の振り返りを必ず行う	1) ・振り返りシートなどを活用し、目標やねらいについての自己評価をさせる ・言語化が難しい児童生徒の場合は、項目を示し、○×でチェックさせる 2) ・シールなどによるポイント制を利用する
2	授業の構成	4) ・視覚的な手がかりや具体物を使って説明する ・形の特徴や位置の関係などをできるだけ言葉で説明する	
3	学習のルール	5) ・合図や質問の仕方を決めておく	5) ・「お助けカード」を活用する
4	指示の出し方	6) ・黒板に書いて指示を出す際に、言語による指示を加え、視覚的な情報の入力弱さを補う ・フラッシュカードのように瞬時に消える情報提示をする際は、音声情報で補う	